

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成29年 3月28日

計画の名称	11 連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	京都市
計画の目標	阪急京都線（洛西口駅付近）連続立体交差事業において、複数の踏切を除却することにより、周辺道路の慢性的な渋滞を緩和し、快適で安全な道路交通を確保する。		

計画の成果目標（定量的指標）	・事業区間の幹線道路（久世北茶屋線、山陰街道）の踏切渋滞を解消する。		
----------------	------------------------------------	--	--

定量的指標の定義及び算定式	最終目標年度において、事業区間の整備を「行った場合」と「行わなかった場合」の幹線道路の踏切交通遮断量を表す。										定量的指標の現況値及び目標値			備考	
	整備なし										当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H28末)		
	久世北茶屋線 = 踏切交通遮断量(自動車) 174,705 台時/日 ⇒ 0 台時/日										308,903 台時/日	-	0 台時/日		
	山陰街道 = 踏切交通遮断量(自動車) 134,198 台時/日 ⇒ 0 台時/日														
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	8,290 百万円	A	8,290 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0%		

交付対象事業																			
A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29				
11-A-1	街路	一般	京都市	直接	京都市	S街路	改築	阪急京都線（洛西口駅付近）連続立体交差事業	鉄道高架 L=1.9km	京都市						8,290	2	-	
											合計					8,290			

C 効果促進事業																	
C1 道路効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
											小計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	990	1,600	268	125	-
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	51	-
交付額 (c=a+b)	990	1,600	268	176	0
前年度からの繰越額 (d)	555	690	885	227	3
支払済額 (e)	855	1,405	925	400	3
翌年度繰越額 (f)	690	885	227	3	0
うち未契約繰越額 (g)	1	98	150	1	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.1%	4.3%	13.0%	0.2%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	—	—	用地境界確定等に時間を要したため	—	—

※ 平成30年度は、決算額が確定でき次第記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	11 連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消	交付団体	京都市
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）		

